

練成問題

① イ・エ・カ

解説

イ・エ・カは、いずれも確定の順接(原因・理由)を表す接続助詞です。接続助詞「から」は、イやカのように用言の終止形、エのように助動詞の終止形に接続します。

ア・ウ・オは、いずれも起点を表す格助詞です。格助詞「から」は、アのように体言に準ずることを示す格助詞「の」、ウやオのよ
うに体言、「宿題が済んでから遊ぶ」のように接続助詞「て(で)」
に接続します。

② イ・エ・キ

解説

イは確定の順接(一般条件)を表す接続助詞、エは仮定の順接を表す接続助詞、キは確定の順接を表す接続助詞です。接続助詞「と」は、イやキのように用言の終止形、エのように助動詞の終止形に接続します。

③

解説

ア・オは結果を表す格助詞、ウは引用を表す格助詞、カは並立を表す格助詞です。格助詞「と」は、ア・オ・カのように体言、ウのように文に接続します。

ウ・オ・カ

ウは並立を表す接続助詞、オは確定の逆接を表す接続助詞、カは単純な接続を表す接続助詞です。接続助詞「が」は、ウのように用言の終止形、オ・カのように助動詞の終止形に接続します。

ア・イ・エは、いずれも格助詞の「が」です。格助詞「が」は、ア・イのように体言、エのように体言に準ずることを示す格助詞「の」、「やってみるが|良い」のように用言の連体形、「やってみせるが|良い」のように助動詞の連体形に接続します。

④

解説

接続助詞「て」の濁音形「で」は、エやキのように撥音便や、オのようにイ音便に接続します。

アは手段を表す格助詞、イは場所を表す格助詞、ウ・カは原因・理由を表す格助詞です。格助詞「で」は、これらのように、主に体言に接続します。

⑤

(1) エ	(2) ア	(3) エ
(4) エ	(5) エ	(6) ア
(7) ウ	(8) エ	(9) エ

解説

- (1) 例文とエの「の」は体言に準ずることを表す格助詞です。アとウは連体修飾語を表す格助詞、イは部分の主語を表す格助詞です。
(2) 例文とアの「に」は目的を表す格助詞です。イは場所を表す格